

「やまぐち産業戦略推進計画」指標の達成状況

資料1

平成27年度「山口県産業戦略本部」第1回全体会合

	指標数	A	B	C	D	
産業戦略指標	5		4	1		
個別指標	指標数	A	B	C	D	その他
重点 国際競争に打ち勝つ「瀬戸内産業再生戦略」	10		8			2
重点 全国をリードする「医療関連産業育成・集積戦略」	1		1			
重点 次代を担う「水素等環境関連産業育成・集積戦略」	6	2	2	2		
重点 おいでませ！「宿泊者数500万人戦略」	3		2	1		
重点 地域が輝く「農林水産業活力向上戦略」	4		4			
技術力のある「中堅・中小企業成長戦略」	3		3			
未来を拓く「やまぐち売り込み戦略」	3					3
未来を担う「産業を支える人づくり戦略」	8		5			3
新たな地産地消開拓戦略	1		1			
その他の取り組むべき施策	1	1				
小計	40	3	26	3	0	8
合計	45	3	30	4	0	8

※進捗状況 A・・・目標を前倒しで達成 B・・・28年度目標達成に向けて順調に推移
C・・・目標達成には更なる取組強化が必要 D・・・目標達成は困難

※「その他」は、新規プロジェクトに関する指標等、実績数値等がないもの

※再掲除く

「やまぐち産業戦略推進計画」の達成状況

※進捗状況

A・・・目標を前倒して達成 B・・・28年度目標達成に向けて順調に推移
C・・・目標達成には更なる取組強化が必要 D・・・目標達成は困難

資料1

戦略・プロジェクト 指 標	設定 時期	指標設定時点の現状値		平成25年度実績		平成26年度実績		平成28年度目標	※達成 状況	26年度(又は直近)実績の分析	
		数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度			目標達成に向けた対応方向	
産業戦略指標											
工業出荷額	H25.7	6.1兆円	H24年	6.8兆円	H25年	集計中	H26年	年間7兆円以上	B	H25年は、前年比11.7%増加と全国1位の伸び率。(全国は1.2%の増加) 産業類型別では、基礎素材型が12.5%の増加、加工組立型が14.4%の増加。 短期的には、消費増税や原油安等の影響も考えられるが、中期的に目標を達成できるよう、産業戦略の推進等、産業界と一体となった産業振興に努める。	
新規投資(企業誘致・規模拡大投資)件数(累計)	H25.7	51社	H24年	54社	H25年	42社 (累計96社)	H26年	200社以上 (H25～28年累計)	B	ほぼ計画通りに推移している。 本年度予算において企業立地施策の充実・強化を図っており、目標達成に向け引き続き取り組む。	
年間延べ宿泊者数	H25.7	429万人	H24年	438万人	H25年	450万人	H26年 速報値	500万人以上 (H28)	C	宿泊者数は伸びているが、目標達成に向けては、現況以上の伸び率を確保していく必要がある。 目標達成に向けて、観光プロモーション、観光地域づくり等の取組を更に強化する。	
農林水産分野における「やまぐちブランド」の育成	H25.7	-		58商品	H25年度	66商品	H26年度	100商品以上	B	目標値の2/3に達し、順調に推移している。 生産者や関係者等と協働し、引き続きやまぐちブランドへの登録を推進する。	
新規雇用創出数(累計)	H25.7	-		5,401人	H25年度	6,283人 (累計11,684人)	H26年度 速報値	2.8万人以上 (H25～28年度累計)	B	個々の計画の進捗状況に差はあるが、全体では、おおむね計画どおりに推移している。 関係部局と目標達成に向け、引き続き雇用創出に向けた取組を推進する。	

「やまぐち産業戦略推進計画」の達成状況

※達成状況

A・・・目標を前倒しで達成 B・・・28年度目標達成に向けて順調に推移
C・・・目標達成には更なる取組強化が必要 D・・・目標達成は困難

資料1

戦略・プロジェクト	設定時期	指標設定時点の現状値		平成25年度実績		平成26年度実績		平成28年度目標	※達成状況	26年度(又は直近)実績の分析
		数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度			目標達成に向けた対応方向
個別指標										
重点戦略1 国際競争に打ち勝つ「瀬戸内産業再生戦略」										
1 物流拠点港湾の機能強化P	H25.7									
年間石炭輸入量	H27.3	-		1,201万トン	H25年	1,174万トン	H26年速報値	H20年代末までに1,400万トン	B	H26年度は、発電所の一時的な操業停止等の影響により、前年から微減(-27万トン)したが、県内港湾を利用する企業の石炭長期購入契約の締結、石炭火力発電事業のための会社設立等、取扱増につながる計画が実現しつつある。 国際バルク戦略港湾の整備に関する予算の確保に努め、石炭輸入量増加に向けた環境整備に引き続き取り組む。
2 工業用水の安定供給P	H25.7									
島田川分水事業の進捗率	H27.3	-		-		4%	H26年度	H28年度末進捗率30% H31年度中の供用開始	B	H26年度は、導水管布設ルートを確定し、詳細設計等に着手するなど、計画どおり順調に推移。 H31年度中の供用開始に向け、予算の確保に努め、計画期間内に導水管布設工事、トンネル工事に着手する。
渇水時追加給水可能量	H27.3	-		-		約170万m ³ /年	H26年度	最大約170万m ³ /年	B	宇部丸山ダムへの送水ポンプ設置による貯水システムの運用開始、和田取水の川上ダムへの一時貯留、下松市工業用水の活用について市との協定締結により、渇水時の追加給水可能量を確保し、計画どおり順調に推移。 渇水時に備え、各施設等において、追加給水可能量の確保に努める。
3 物流等基盤の強化P	H25.7									
解消する主要渋滞箇所数(累計)	H27.3	-		0箇所	H25年度	4箇所(見込) (累計4箇所(見込))	H26年度	5箇所以上 (H25~28年度累計)	B	H26年度は、小野田湾岸道路及び下関北バイパスの供用により、4箇所で渋滞が解消する見込み(今年度検証予定)。 予算確保に努め、目標達成に向け、引き続き取り組む。
整備を完了する国道・県道の延長(累計)	H27.3	-		4.8km	H25年度	23.0km (累計27.8km)	H26年度	60km以上 (H25~28年度累計)	B	H26年度は、小野田湾岸道路、国道191号下関北バイパス等、23.0kmが供用するなど、順調に推移。 予算確保に努め、目標達成に向け、引き続き取り組む。

「やまぐち産業戦略推進計画」の達成状況

※達成状況

A・・・目標を前倒しで達成 B・・・28年度目標達成に向けて順調に推移
C・・・目標達成には更なる取組強化が必要 D・・・目標達成は困難

資料1

戦略・プロジェクト	設定時期	指標設定時点の現状値		平成25年度実績		平成26年度実績		平成28年度目標	※達成状況	26年度(又は直近)実績の分析	
		数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度			目標達成に向けた対応方向	
個別指標											
4 戦略的な企業立地等の推進P	H25.7										
新規投資(企業誘致・規模拡大投資)件数(累計)	H25.7	51社	H24年	54社	H25年	42社 (累計96社)	H26年	200社以上 (H25~28年累計)	(再掲)	-	-
5 産業インフラの長寿命化P	H26.7										
橋梁の長寿命化計画に基づく修繕実施数(累計)	H27.3	-		54橋	H25年度	60橋 (累計114橋)	H26年度	170橋	B	H26年度は、60箇所の修繕工事を実施するなど、計画どおり順調に推移。 予算確保に努め、目標達成に向け、引き続き取り組む。	
港湾施設の予防保全計画に基づく改良箇所数	H27.3	-		1箇所	H25年度	0箇所 (累計1箇所)	H26年度	4箇所	B	H26年度は、三田尻中関港など3箇所において岸壁改良工事を実施しており、計画どおり順調に推移。 予算確保に努め、目標達成に向け、引き続き取り組む。	
工業用水道関係:優先的に更新を要する管路老朽化対策	H27.3	-		-		18%	H26年度	進捗率25%	B	H26年度は、宇部地区の厚東川(2期)ルート対策工事を実施し、18%の進捗率となり、計画どおり順調に推移。 予算確保に努め、目標達成に向け、引き続き取り組む。	
6 コンビナート企業間の連携促進P	H27.3										
企業間連携による具体的な取組の促進	H27.3	-		-		-		実現件数 延べ3件以上	-	-	-
コンビナート企業間の有機的な結び付きの維持・強化	H27.3	-		-		-		コンビナート企業間の有機的な結び付きの維持・強化	-	-	-

「やまぐち産業戦略推進計画」の達成状況

※達成状況

A・・・目標を前倒して達成 B・・・28年度目標達成に向けて順調に推移
C・・・目標達成には更なる取組強化が必要 D・・・目標達成は困難

資料1

戦略・プロジェクト	設定 時期	指標設定時点の現状値		平成25年度実績		平成26年度実績		平成28年度目標	※達成 状況	26年度(又は直近)実績の分析	
		数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度			目標達成に向けた対応方向	
個別指標											
重点戦略2 全国をリードする「医療関連産業育成・集積戦略」											
1 医療関連産業クラスターの形成P H25.7											
医療関連分野での事業化 件数 (累計)	H25.7	-		0件	H25 年度	1件	H26 年度	10件 (H25～28年度累計)	B	県補助金で採択している9件の研究開発が順調に 進捗しており、今後の事業化が期待できる。 本年度も必要な予算を確保しており、目標達成に 向け引き続き取り組む。	
重点戦略3 次代を担う「水素等環境関連産業育成・集積戦略」											
1 環境・エネルギー産業クラスターの形成P H25.7											
環境・エネルギー分野での 事業化件数 (累計)	H25.7	-		0件	H25 年度	0件	H26 年度	10件 (H25～28年度累計)	B	県補助金で採択している7件の研究開発が順調に 進捗しており、今後の事業化が期待できる。 本年度も必要な予算を確保しており、目標達成に 向け引き続き取り組む。	
2 水素利活用による産業振興と地域づくりP H25.7											
水素ステーションの誘致	H25.7	-		-		誘致決定	H26 年度	水素ステーションの 誘致	A	H26年4月、周南市へ中国・四国地方初の「水素ス テーション」の誘致が決定した。 本年の開設に向けて建設中である。	
水素利活用による事業化 件数 (累計)	H25.7	-		0件	H25 年度	0件	H26 年度	6件 (H25～28年度累計)	C	研究・試作開発を行っているが、事業化には至っ ていない。 目標達成に向けて、県産業技術センター(新エネ 研究会等)により、継続的な支援に取り組む。	
水素利活用によるスマートコミュ ニティモデルの創出	H25.7	-		-		-		水素利活用による スマートコミュニティモデル の創出	C	県内においても、スマートコミュニティの検討が始 まっているが、現在、具体化には至っていない。 水素利活用に向け設置した全県的な協議会を通じ て、取組の要請や情報提供、普及啓発等に取り組 む。	

「やまぐち産業戦略推進計画」の達成状況

※達成状況

A・・・目標を前倒して達成 B・・・28年度目標達成に向けて順調に推移
C・・・目標達成には更なる取組強化が必要 D・・・目標達成は困難

資料1

戦略・プロジェクト	設定時期	指標設定時点の現状値		平成25年度実績		平成26年度実績		平成28年度目標	※達成状況	26年度(又は直近)実績の分析	
		数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度			目標達成に向けた対応方向	
個別指標											
3 再生可能エネルギーの導入促進P	H25.7										
再生可能エネルギーの発電出力	H25.7	-		547,057kW	H25年度	集計中	H26年度	81万2千kW (当初56万6千Kw)	B	太陽光発電の導入が進むなど、平成26年11月時点の発電出力は65万kWを超えている。 県の補助制度の活用等により、更に導入が進むよう取組を進める。	
EV急速充電器の設置数(累計)	H25.7	-		28基	H25年度	94基 (累計122基)	H26年度	120基(当初90基) (H25～28年度累計)	A	H26年度の新設は94基であり、国等の補助制度の活用により大幅に増加した。 H26年度で目標基数(120基)を達成。継続して、補助制度を活用した普及に取り組む。	
重点戦略4 おいでませ！「宿泊者数500万人戦略」											
1 明治維新150年に向けた観光需要の拡大P	H25.7										
年間延べ宿泊者数	H25.7	429万人	H24年	438万人	H25年	450万人	H26年 速報値	500万人以上 (H28)	(再掲)	-	
2 外国人観光客倍増に向けた国際観光の推進P	H25.7										
外国人延べ宿泊者の倍増	H25.7	4万人	H24年	4万人	H25年	5万人	H26年 速報値	8万人 (H28)	C	全国的には外国人観光客が大きく伸長する中、低調に推移している。 目標達成に向けて、戦略的な情報発信や誘客対策を更に強化する。	
3 クルーズ船の誘致推進P	H26.7										
クルーズ船寄港回数の倍増	H26.7	-		12回	H25年	12回	H26年	15回 (H28)	B	H26年は当初11回の寄港予定だったが、下関港において急遽の受け入れ要請に対応し、前年と同じ12回となった。 H27年は15回の寄港が予定されており、1年前倒しで目標達成の見込み。	
大型クルーズ船(7万トン級以上定員1000人超)の県内初寄港の実現	H26.7	-		-		-		大型クルーズ船(7万トン級以上定員1000人超)の県内初寄港の実現	B	H26年度は、岩国港において、大型クルーズ船寄港に伴う船舶航行安全の検討に着手。 船舶航行安全の検討結果を踏まえ、誘致活動や港湾施設の改良など、計画達成に向け、引き続き取り組む。	

「やまぐち産業戦略推進計画」の達成状況

※達成状況

A・・・目標を前倒しで達成 B・・・28年度目標達成に向けて順調に推移
C・・・目標達成には更なる取組強化が必要 D・・・目標達成は困難

資料1

戦略・プロジェクト	設定時期	指標設定時点の現状値		平成25年度実績		平成26年度実績		平成28年度目標	※達成状況	26年度(又は直近)実績の分析	
		数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度			目標達成に向けた対応方向	
個別指標											
重点戦略5 地域が輝く「農林水産業活力向上戦略」											
1 「やまぐちブランド」等の販路拡大P											
	H25.7										
農林水産分野における「やまぐちブランド」の育成	H25.7	-		58商品	H25年度	66商品	H26年度	100商品以上	(再掲)		-
やまぐちブランド取扱店数(県外)	H26.7	-		19店	H25年度	21店	H26年度	70店以上	B	首都圏スーパーでのフェア開催を契機として、H26年度に新規2店での取り扱いが開始された。 「ぶちうま売込隊」の活動や山口県ゆかりの店等を対象とする流通システム構築により、引き続き取扱店の増加を推進する。	
2 アジア等に向けた輸出拡大P											
	H25.7										
農林水産物の輸出による売込商品数	H25.7	-		7商品	H25年度	18商品	H26年度	20商品	B	台湾におけるインポーターとの連携を強化し、H26年度は前年度に販売した7商品に新規11商品を加えた18商品の売り込みを実施した。 台湾におけるやまぐちフェアの拡充を図り、引き続き売込商品数の増加を推進する。	
3 6次産業化・農商工連携の推進P											
	H26.7										
6次産業化・農商工連携による新商品開発件数(累計)	H26.7	-		-		19商品	H26年度	50商品(H25～28年度累計)	B	全国に先駆けて整備した支援体制の下、単年度で19商品もの新商品が開発されたところであり、目標達成に向け着実に推移している。 やまぐち6次産業化・農商工連携サポートセンター等と連携を図りながら、新商品の開発に向けた支援に努める。	
4 水産業振興基盤の強化・充実P											
	H26.7										
衛生管理型荷捌き所の整備	H27.3	-		2施設	H25年度	2施設	H26年度	3施設(H29年度)	B	H26年度は、下関漁港の南棟の基本設計と撤去工事の一部を実施した。 H27年度は、下関漁港の南棟の実施設計と撤去工事を行う。	

「やまぐち産業戦略推進計画」の達成状況

※達成状況

A・・・目標を前倒して達成 B・・・28年度目標達成に向けて順調に推移
C・・・目標達成には更なる取組強化が必要 D・・・目標達成は困難

資料1

戦略・プロジェクト	設定時期	指標設定時点の現状値		平成25年度実績		平成26年度実績		平成28年度目標	※達成状況	26年度(又は直近)実績の分析	
		数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度			目標達成に向けた対応方向	
個別指標											
戦略6 技術力のある「中堅・中小企業成長戦略」											
1 技術革新や経営革新による中堅・中小企業の成長P H25.7											
経営革新計画目標達成企業数(累計)	H25.7	-		184件	H25年度	9件 (累計193件)	H26年度	230件 (H25~28年度累計)	B	計画どおり順調に推移している。 本年度も必要な予算を確保しており、目標達成に向け引き続き取り組む。	
山口県技術革新計画を達成した企業の割合	H25.7	-		50%	H25年度	53%	H26年度	50% (H28年度)	B	H26年度の計画終了企業3社のうち、2社が計画の目標を達成し、累計で9社が目標を達成した。 計画期間中の企業10社が、国の競争的資金、補助金の活用等により計画達成に向け取り組んでおり、引き続き支援に取り組む。	
2 建設産業の再生・強化P H25.7											
建設産業の技術者・技能者の若年者比率	H27.3	-		8.8%	H25年度	-		10%	B	担い手の確保・育成のため産学官による協議会を設立し、建設企業合同会社説明会の開催等の取り組みを実施。 今年度新たに、建設企業地域巡回会社説明会を実施するなど、計画達成に向け、引き続き取り組む。	
戦略7 未来を拓く「やまぐち売り込み戦略」											
1 首都圏等に向けた売り込み強化P H27.3											
首都圏における外部人材活用による商談件数(累計)	H27.3	-		-		-		600件 (H27~28年度累計)	-	-	
関西圏における県産品商談件数(累計)	H27.3	-		-		-		800件 (H27~28年度累計)	-	-	

「やまぐち産業戦略推進計画」の達成状況

※達成状況

A・・・目標を前倒しで達成 B・・・28年度目標達成に向けて順調に推移
C・・・目標達成には更なる取組強化が必要 D・・・目標達成は困難

資料1

戦略・プロジェクト	設定時期	指標設定時点の現状値		平成25年度実績		平成26年度実績		平成28年度目標	※達成状況	26年度(又は直近)実績の分析	
		数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度			目標達成に向けた対応方向	
個別指標											
新規投資(企業誘致・規模拡大投資)件数(累計)	H25.7	51社	H24年	54社	H25年	42社 (累計96社)	H26年	200社以上 (H25~28年累計)	(再掲)	-	-
年間延べ宿泊者数	H25.7	429万人	H24年	438万人	H25年	450万人	H26年 速報値	500万人以上 (H28年)	(再掲)	-	-
やまぐちブランド取扱店数(県外)	H26.7	-		19店	H25年度	21店	H26年度	70店以上	(再掲)	-	-
2 海外に向けた売り込み展開P											
ASEAN地域等に向けた取組方針の策定	H27.3	-		-		-		ASEAN地域等に向けた取組方針の策定(H27年度)	-	-	-
農林水産物の輸出による売込商品数	H25.7	-		7商品	H25年度	18商品	H26年度	20商品	(再掲)	-	-
外国人延べ宿泊者数の倍増	H25.7	4万人	H24年	4万人	H25年	5万人	H26年 速報値	8万人 (H28)	(再掲)	-	-

「やまぐち産業戦略推進計画」の達成状況

※達成状況

A・・・目標を前倒して達成 B・・・28年度目標達成に向けて順調に推移
C・・・目標達成には更なる取組強化が必要 D・・・目標達成は困難

資料1

戦略・プロジェクト	設定 時期	指標設定時点の現状値		平成25年度実績		平成26年度実績		平成28年度目標	※達成 状況	26年度(又は直近)実績の分析	
		数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度			目標達成に向けた対応方向	
個別指標											
戦略8 未来を担う「産業を支える人づくり戦略」											
1 ものづくり産業等を支える人材の育成F H25.7											
公共職業訓練受講生の就職率	H27.3	-		95.4%	H25年度	集計中	H26年度	現在の水準を向上	-	-	-
技能検定合格者数	H27.3	-		1,805人	H25年度	1,685人	H26年度	現在の水準を向上	B	業務多忙のため、例年ほど受検に取り組めなかった企業があり、1・2級の受検者が減少した。	-
職業教育技術顕彰受賞生徒(ハイレベルな資格を取得した生徒)の割合	H27.3	-		20.1%	H25年度	21.6%	H26年度	24%	B	H26年は、前年に比べ1.5%増加した。	高校生への受検勧奨を重点的に取り組むなど、目標達成に向け取組を強化する。
職業教育技術顕彰受賞生徒(ハイレベルな資格を取得した生徒)の割合	H27.3	-		20.1%	H25年度	21.6%	H26年度	24%	B	専門性の深化を図るために資格取得を一層奨励している。	
2 産業を支える女性の活躍促進P H26.7											
就業率(25~44歳女性)	H26.7	-		68.2%	H22	-		71% (H27年)	-	-	-
「やまぐち子育て応援企業宣言」届出企業数(累計)	H26.7	-		632社	H25年度	70社 (累計702社)	H26年度	780社 (H25~H28年度累計)	B	計画どおり順調に推移している。	目標達成に向け、関係機関と連携しながら引き続き取り組む。
「やまぐちイクメン応援企業宣言」登録企業数(累計)	H27.3	-		-		52社	H26年度	300社 (H26~H28年度累計)	B	制度創設初年度であるH26年度は、企業等の認知度が低く、登録が少ない。	H27年度に新設した奨励金制度等を活用しながら、目標達成に向け重点的に取り組む。

「やまぐち産業戦略推進計画」の達成状況

※達成状況

A・・・目標を前倒して達成 B・・・28年度目標達成に向けて順調に推移
C・・・目標達成には更なる取組強化が必要 D・・・目標達成は困難

資料1

戦略・プロジェクト	設定 時期	指標設定時点の現状値		平成25年度実績		平成26年度実績		平成28年度目標	※達成 状況	26年度(又は直近)実績の分析	
		数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度			目標達成に向けた対応方向	
個別指標											
3 高度産業人材等の還流促進P	H27.3										
奨学金返還補助制度の活用による高度産業人材の確保	H27.3	-		-		-		年間20人	-	-	
Uターン就職学生数(若者就職支援センター登録者)	H27.3	-		137人	H25年度	119人	H26年度	170人	B	都市部を中心とした就職環境の改善に伴い、地方へのUターン就職学生が減少した。 本年度も必要な予算を確保しており、目標達成に向け引き続き取り組む。	
戦略9 新たな地産地消開拓戦略											
1 コンクリート舗装の活用促進P	H25.7										
コンクリート舗装の施工延長(累計)	H27.3	-		1.2km	H25年度	0.4km (累計1.6km)	H26年度	3km以上 (H25～28年度累計)	B	H26年度は、県が整備する道路等において0.4kmを施工しており、順調に推移。 積極的な活用に努めるとともに、国、市町への普及を図るなど、目標達成に向け、引き続き取り組む。	
その他の取り組むべき施策											
1 コンパクトなまちづくりの実現P	H25.7										
コンパクトなまちづくりに資する計画策定市町数(累計)	H27.3	-		3市	H25年度	5市 (累計8市)	H26年度	H20年代末までに8市	A	H26年度は、コンパクトなまちづくりモデル事業の3地区で、まちづくり構想を策定し、加えて、岩国市中心市街地活性化基本計画、宇部市低炭素まちづくり計画が策定された。 H26年度までに目標としていた8市で計画が策定された。これらの計画をスタートラインに、引き続き、市と連携して具体的な取組を着実に進めていくとともに、更に多くの市町が計画策定に取り組むよう、普及啓発活動に努める。	